



MORAMORA

マダガスカル通信 第5号 2022年11月15日

mazoto な子どもたち

Manao ahoana! 最近では活動先を増やすため、いろんな小学校に初訪問して授業をさせてもらっています。教える教科は子どもたちの様子や先生方のリクエストによって様々。音楽の授業では、1コマの前半がリズム、後半が歌という2部構成で教えています。リズムでは、「♪♪」や「♪♪♪」などいろいろなパターンの音符カードを並べて黒板に貼り、音楽に合わせて手を叩く練習をしています。ふだんマダガスカルの人たちはリズム感が良いので、手を叩くくらいお茶の子さいさいかと思いきや、意外とみんな苦戦中。聞けば、音符を見たことがない子どもが多いようで、もう少し慣れが必要です。

歌では、ハーモニーの心地よさを伝えたくて、「かえるの合唱」の輪唱をしています。日本語の歌は難しいはずなのに、みんな飲みこみが早く、あっという間に覚えてしまいます。先日、歌詞を書いた模造紙を黒板に貼ったあとふり返ると、一人の子どもが歌詞をノートにメモしています。何気なく「Mazoto (熱心だね)」とほめたところ、他の子どもたちが一斉にノートを取り出してメモし始めました。かわいすぎて吹き出しそうになるのを抑え、全員のことをべた褒めしておきました。



ミルルは一日にして成らず



熱心なのは子どもだけではなく、大人も熱心で働き者。日の出から日没まで、みんな一生懸命働いています。マダガスカルでは仕事で使う道具や収穫した作物などを頭の上に載せて運ぶことがあり、この運び方をマダガスカル語で「Miloloha (ミルル)」と言います。

僕は現在ミルルを練習中。まだまだ下手くそですが、帰国までにマスターする予定なので、日本でお会いする機会があれば

ミルルの腕前を見てください。



長谷川 太郎

出身：大阪府 職業：小学校教諭

協力隊に参加した理由：帰国後、日本の子どもたちに世界のことを伝えるため。

隊次：2021年度1次隊 職種：小学校教育 任地：アンズズルベ

活動内容：5～6校の小学校を巡回し、各校の先生といっしょに算数、理科、体育などの授業を行う。

